

年	組	名前
---	---	----

# おいしいナバナ

# 届けます

## 豊後高田で収穫シーズン



県内一のナバナ生産地として知られる豊後高田市で、収穫シーズンを迎えている。昨秋の日照不足のため、わせ品種の出来はやや不良だったが、冬季は気温が高まり、その後の生育は順調。生産農家は「暖かくなると開花も早くなる。つぼみが青いうちに収穫したい」と話し、刈り取り作業に励んでいる。

## 気温高まり生育順調

ナバナは菜の花を食用に改良した品種で、模。今季は108㍓のビタミンや食物繊維などを豊富に含んでいる。収穫量は見込んでいる。収穫は11月から5月まで。

同市と杵築市大田の生産者でつくる「JAおおいた豊後高田事業部なばな部会」（萩後美部会長、140人）によると、早期米の裏作として、1989年に始まった。冬季に育つため、防虫作業などの手間が掛からない。軽量野菜であることから、生産者には高齢者や女性も多いという。萩部会長（66）は豊後高田市来繩の畑約30㍓で栽培している。つぼみの大きさを見ながら、15㍓ほどの長さで茎や葉を刈り取っていた。萩部会長は「ちよっと収穫が遅れただけで、つぼみが黄色っぽくなる。この時期は毎日、畑に出て作業しないと」と話していた。収穫後は東にまとめ、中国、九州地方に出荷する。

「つぼみが青いうちに収穫するのが一番。油炒めや塩ゆでにするとおいしいですよ」と話す生産農家の萩後美さん（27日、豊後高田市来繩同部会の栽培面積は約

(2015年1月28日朝刊14面)

大分県内一のナバナ生産地として知られる豊後高田市で、収穫シーズンを迎えています。

①「ナバナ」とは  
 どのような品種  
 でしょう。

.....

.....

.....

.....

②冬季に育てられて良い点は、  
 どのようなことでしょう。

.....

.....

.....

.....

③ナバナを使った料理はどんな  
 ものがあるだろう。調べてみよう。

.....

.....

.....

.....